

6) 滞在プログラム実施結果振り返り合宿の実施

(1) 合宿実施内容

滞在プログラム実施結果振り返り合宿は、対象地域が一同に会し、実行プランの実施結果について発表し、参加者相互で評価、アドバイスすることで、C=「チェック」、A=「アクション」をより効果的に検討できるようにした。

合宿の実施内容は、以下の合宿実施報告の通りである。

■滞在プログラム実施結果振り返り合宿 実施報告書

1. 実施概要

日 時：平成25年2月5日(火) 13:30～19:00

平成25年2月6日(水) 8:55～15:30

場 所：株式会社リクルート内 セミナールーム(41F「スカイルーム B」)

参加地域：全16地域(29名)

内 容：

1日目(2月5日)

No.	時間	内容
1	13:30	開会
2	13:30～	開催にあたってのご挨拶／観光庁観光資源課課長 新垣慶太氏
3	13:40～	観光庁ご紹介 <10分>
4	13:50～	事務局挨拶、今年度事業のこれまでの振り返り・本合宿研修の内容説明 ／加藤史子(じゃらんリサーチセンター) <10分>
5	14:00～	各グループ毎にチェックイン・ウォームアップ <15分>
6	14:15～	地域発表①【第1エリア:南富良野町、第2エリア:内子町】 地域発表・アドバイスシート記入、グループ内でのアドバイス共有、各グループからアドバイス発表 <60分>
7	15:30～	地域発表②【第1エリア:網走市、第2エリア:能登町】 地域発表・アドバイスシート記入、グループ内でのアドバイス共有、各グループからアドバイス発表 <60分>
8	16:30～	地域発表③【第1エリア:志摩市、第2エリア:宇部市】 地域発表・アドバイスシート記入、グループ内でのアドバイス共有、各グループからアドバイス発表 <60分>
9	17:45～	地域発表④【第1エリア:広島市、第2エリア:大館市】 地域発表・アドバイスシート記入、グループ内でのアドバイス共有、各グループからアドバイス発表 <60分>
10	18:45～	事務連絡

2日目(2月6日)

No.	時間	内容
1	8:55～	オリエンテーション
2	9:00～	地域発表⑤【第1エリア:竹田市、第2エリア:那覇市】 地域発表・アドバイスシート記入、グループ内でのアドバイス共有、各グループからアドバイス発表 <60分>
3	10:15～	基調講演／清水慎一氏(立教大学 観光学部 特任教授)／<70分>
4	11:25～	昼食・休憩
5	12:10～	地域発表⑥【第1エリア:銚子市、第2エリア:上山市】 地域発表・アドバイスシート記入、グループ内でのアドバイス共有、各グループからアドバイス発表 <55分>
6	13:10～	地域発表⑦【第1エリア:香川県、第2エリア:小値賀町】 地域発表・アドバイスシート記入、グループ内でのアドバイス共有、各グループからアドバイス発表

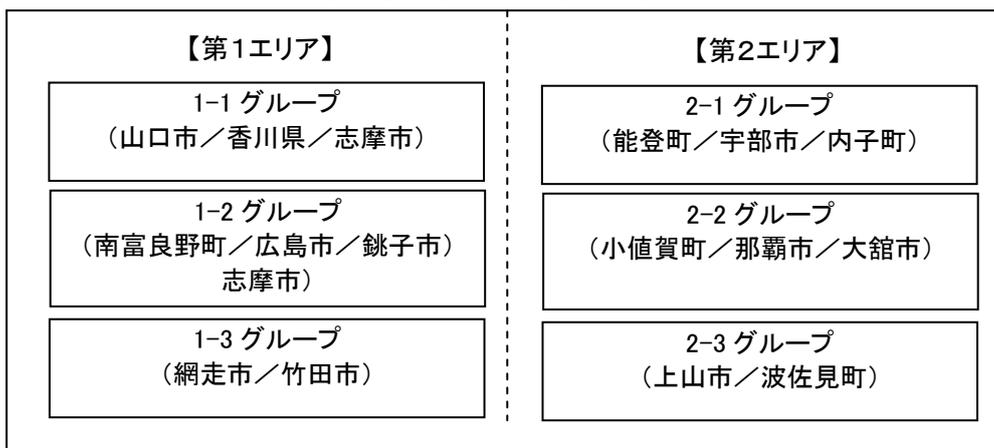
【滞在プログラム実施結果ふり合宿 実施報告書】

		表 <55分>
7	14:05~	地域発表⑧【第1エリア:山口市、第2エリア:波佐見町】 地域発表・アドバイスシート記入、グループ内でのアドバイス共有、各グループからアドバイス発表 <55分>
6	15:00~	各地域参加者ごとの振り返り・改善来期案出し、振り返りアンケート記入、事務連絡 <30分>
7	15:30	終了・退出

2. グループワークの枠組み

1) エリア分け

参加16地域を8地域ずつ2つのエリアに分け、さらに各エリアの参加者を3グループに分けて実施した。
<エリア分け・グループ分けのイメージ>



2) 地域発表とワークの流れ

	流れ	内容	時間
①	地域発表	同じエリアの8地域の参加者に対して、取組内容を発表	10分
②	質疑	発表地域に対して参加者から質疑	20分
③	個人ワーク	参加者それぞれが発表地域の取り組みへの感想やアドバイスをシートに記入	
④	グループワーク	グループ内で、各参加者の感想・アドバイスを共有、ディスカッション	15分
⑤	全体共有	グループの代表者がグループ内でのディスカッションのまとめを、同じエリア全体で共有	15分

上記の流れを、8地域分、繰り返し行った。

3. 実施風景

1) 地域発表とワーク

ステップ①地域発表



ステップ②質疑応答



ステップ③個人ワーク(アドバイスシートの記入)



【滞在プログラム実施結果ふり返し合宿 実施報告書】

ステップ④グループワーク(感想・アドバイスの共有)



ステップ⑤全体共有(グループ代表者がグループ内ディスカッションのまとめを発表)



2) 基調講演

講演者 : 清水慎一氏(立教大学 観光学部 特任教授)

講演テーマ : 『滞在プログラムと、地域づくり』



(2) 合宿実施結果の評価

合宿の実施結果について参加者アンケートにより評価を得た。
 評価結果は、以下の合宿アンケート結果報告の通りである。

■滞在プログラム実施結果ふり返し合宿 合宿アンケート結果報告

1. 合宿アンケート調査の概要

- 1) 実施日 平成 25 年 2 月 5 日～6 日
- 2) 対象者 地域からの合宿参加者 16 地域 29 名
- 3) 回収数 29 名 (対象者全員)
- 4) 調査内容 地域からの発表、グループワーク等について以下の 4 段階で評価
 - 「とてもプラスになった」
 - 「ややプラスになった」
 - 「どちらかといえばプラスになった」
 - 「プラスにならなかった」
 - ・意見、感想もあわせて取得

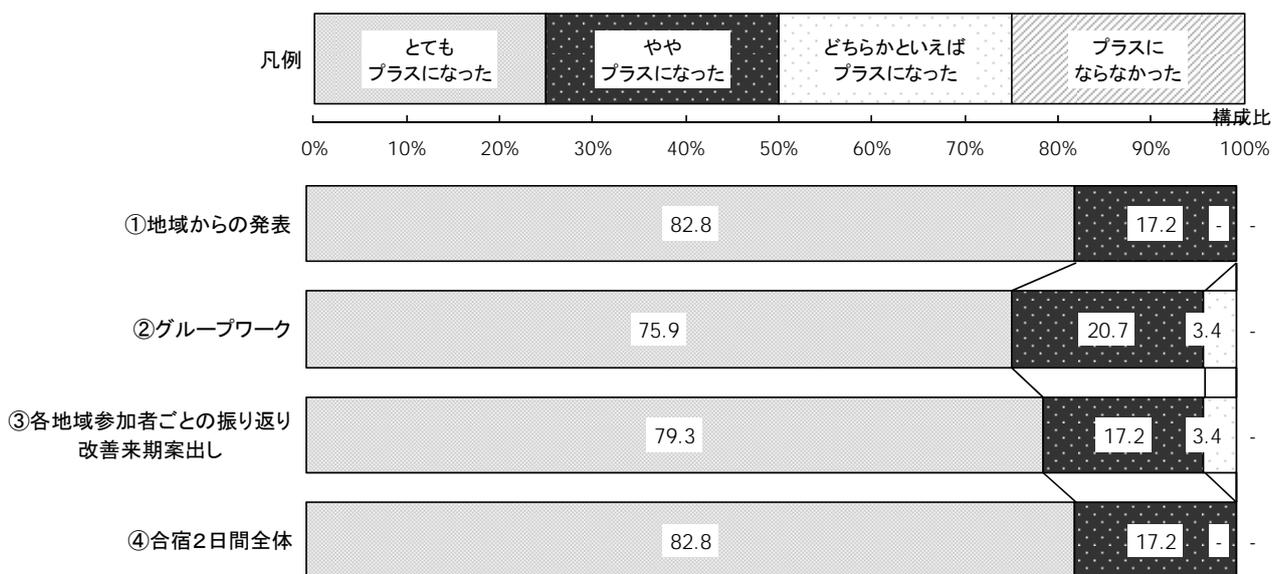
2. 合宿アンケート調査結果

1) アンケート集計結果

(1) 集計対象とした合宿内容

- ①地域からの発表
- ②グループワーク
- ③各地域参加者ごとの振り返り・改善来期案出し
- ④合宿 2 日間全体

図表 1 合宿内容に対するアンケート集計結果グラフ



各合宿の内容に対する評価は、「とてもプラスになった」が 75%以上と高い評価となっている。特に、①地域からの発表、④合宿 2 日間全体に対する評価は、参加者全員が「とてもプラスになった」または「ややプラスになった」と回答している。

(2) 各ワークショップに対する意見・感想（抜粋）

①地域からの発表

- 前回の合宿では名刺交換で終わった地域の取り組みを共有できて良かった。
- 実施主体が様々な団体ですので、多様な意見アドバイス評価をいただけたこと、他地域の動きや情報を知れたことがとてもプラスになった。
- 自分のところでも出来ることなどを発見することができた。
- 地域によって違った取り組みや考え方があり、大変参考になった。また、私どものように着地型観光を始めたばかりの所も有れば、数年来取り組んで実行されている地域との差があり、先進地の話も参考になった。
- 同じような考え、悩みを持っている方との話はわかりやすく実感できた。
- 自地域の企画に素直な指摘をいただき、企画推進に向けて非常に参考になった。

②グループワーク

- 複数の人の考え、感想、アイデアは非常に参考になることが多かった。
- 自分の気づかない観点からの意見がとても参考になった。
- 各自の実体験に基づく意見が多くて良かった。
- 批判的にならないよう配慮されながら、細かい部分を指摘し会えたのは互いにプラスになったと思う。「外の視点」は貴重だと感じた。
- 意見を言うこと、聞くことで自分の頭も整理でき、自地域をふり返るきっかけもたくさんいただくことができた。

③各地域参加者ごとの振り返り・改善来期案出し

- いろんな改善点を自分でじっくり整理しながらふり返ることができた。
- 他から見た、改善策をだしていただき、持ち帰り実践できるようにしたい。
- 実施している自分達が見落としている部分はずいぶん指摘されて良かった。
- 他者から言われて気づくこと、やはりと確信することができた。
- 課題が明確になった。
- 2つの眼と一つの口では足りない部分が、多くの実践者の意見・アドバイスを受けられ満足した。

④合宿2日間全体

- 一つの事案をプレゼン～個人の感想～グループ討議とアドバイスという流れできっちり集約をとって「C」が出来たことがよかった。
- 他地域の発表へのアドバイスを考えることが、ひいては自分の地域への課題解決につながっていった。地域の持つ魅力が明確にわかること、それをコンテンツにして、プログラムにするには様々な地域の人々と協力しあわなければならないとつくづく理解できた。
- 今回はグループワーク、地域ごとの発表が中心で、自分達のプランや他地域と比較しながら考える機会となり、よかった。
- 人と人とのつながりが出来た。それは観光に携わる人材との出会いが自分にとって大きな財産となった。
- 長い時間だったが、とても密度の濃い研修だった。自地域に対してたくさんの方にアドバイスいただける機会はめったにないのでとてもありがたかった。